

T16

プラズマ駆動型科学とは何か

～プラズマプロセスの新展開に期待して～

2023年3月16日(木)13時30分開始

招待講演者:

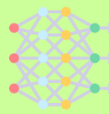
浜口 智志
(大阪大学)

はじめに:プラズマインフォマティクス



成田 絵美
(量子科学技術研究開発機構)

磁場閉じ込め核融合プラズマのデータ駆動型研究の進展



白谷 正治
(九州大学)

深層学習・量子アニーリングを活用したプラズマプロセスの解析と制御

富谷 茂隆
(ソニーセミコンダクタソリューションズ)

半導体における計測インフォマティクス



室賀 駿
(産業技術総合研究所)

マルチモーダルAI材料インフォマティクスによる複雑材料機能予測

佐藤 孝紀
(室蘭工業大学)

プラズマ気相・液体の化学的相互作用の解明



野崎 智洋
(東京工業大学)

触媒反応における非平衡プラズマ化学の活用



吉田 朋子
(大阪公立大学)

プラズマ駆動型化学反応系の複合分析と機能材料の開拓

What is Plasma-Driven Science -
Expectations for New Developments in Plasma Processes

プラズマのつくる電子・イオン・ラジカル・光の織りなす複雑な反応場がトリガーとなり、これまでにみられてこなかった現象や新たな法則の発見があいついでいる。また、情報科学の手法を取り入れプラズマインフォマティクスと称する複雑系システム工学、計測との統合解析、プロセス制御へと発展がみられている。複雑系システム制御の学術基盤「プラズマ駆動型科学」が創成されることで、さらに新たなプラズマプロセスへの展開が期待される。

